

和歌山だより

平成27年
(2015) 7月号



西有田県立自然公園（湯浅町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P11
3. お知らせ…………… P12～P13
4. ふるさと歳時記…………… P14～P15

7月28日から全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が、近畿2府4県で開催されます。御声援よろしくお願いたします。



微笑みの国

世界にはいろいろな国があり、その人々の行動には皆特色があります。私は、日本人の行動原理や慣習、文化はとても素晴らしいものが多いと思っていますので、「外国では」と何でも外国の方が良いように言う人には少し反感を覚えます。しかし、外国の作法で良いと思う所もあることも事実です。

イタリアのミラノにいた時にこれは良いなと思ったことは、パーティーなどで男女が飲食をする機会があった時、女性にお酒を絶対につがせないことです。お酒を勧めることを仕事としている女性は別ですが、年齢や身分に関わらず必ず男性が女性にお酒をサービスします。日本では、若い女性がお酒をついで回らないと気が利かないと思われるのではないのでしょうか。

また、知らない人とエレベーターなどで乗り合わせた時、にこっと軽く会釈をする人が多いのですが、これも良いと思います。日本では知らない人同士はぶすっと黙って無視していますが、どうも西洋ではこういう態度は明らかに相手に敵意を示していると取られるようです。私は、ミラノ J E T R O から久しぶりの一時帰国で成田から東京へ向かう時、人々の視線がやたらときつくて怖かった覚えがあります。特に仕事でタイを経由して帰国したからでしょうか。タイでは、この知らない人になにっこりが徹底していて感心しました。微笑みの国と言われる由来です。

しかし、最近タイに出張して、そう極端に「微笑み」を意識しなくなりました。ひょっとしたら、タイも経済発展の結果微笑みの気風が薄れてきたからでしょうか。あるいは、今、私は東京でなく和歌山に住んでいるので、和歌山の道行く人々の視線がより優しいからでしょうか。

良い所は、どんどん真似をしてさらに伸ばしたらいいと思います。和歌山は、出会った人、周りの人にも微笑みの国でありたいと思います。



6/17 ベスト・プラウド・ファーザー賞表彰式にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●「和歌山県長期人口ビジョン」及び「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

・県では、4月7日に「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略本部」を設置して、県版総合戦略の策定作業を行ってきましたが、この度、人口の現状と将来の方向を示した「和歌山県長期人口ビジョン」と、これを実現するための目標と具体的な施策を提示した「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

・今後は、市町村との適正な役割分担と連携を図るとともに、県民と協働しつつ、各関係機関の意見を聞きながら取組を進めていきます。

和歌山県長期人口ビジョンの概要

人口の現状

○総人口の推移

県の人口は、1985年の約108万7千人をピークに減少に転じ、2015年4月の推計人口は約96万6千人と、戦後間もない頃の人口と同程度にまで減少している。高齢人口(65歳以上)の割合は、1970年代以降急速に上昇し、2000年には、全国平均よりも早く「超高齢社会」と言われる段階を超える21.2%となり、直近では27%を超えている。

○自然増減の状況

1995年頃を境に、死亡数が出生数を上回る状態が続いている。特にここ数年は、自然増減の格差が広まる傾向にある。合計特殊出生率は、2005年には1.32まで低下したが、同年に「紀州っ子元気プラン」を策定し少子化対策に取り組んできた結果、2014年は1.55と回復傾向にある。

○社会増減の状況

1954年以降、一貫して転出超過が続き、一時的に転入超過もあったが、1995年からは再び転出超過の状態が続いている。ここ数年は、若年層の転出が際立って多いが、県内に大学が少なく、県外の大学に進学するケースが多いためと考えられる。

人口の展望とめざす将来の方向

○人口予想

このまま何の対策も講じなければ2060年には50万人程度まで激減すると予想され、65歳以上人口が42%となる見込みであり、概ね、現役世代1人で1人の高齢者を支えなければならない状況となる。少子高齢化を伴った人口減少は、地域経済や医療、教育など様々な分野において悪影響を及ぼし、自治体の存続まで危うくすることとなる。

○和歌山県のあるべき将来人口

このような事態に陥ることなく、持続可能な和歌山県を実現するためには、「高齢者1人を現役世代2人で支える人口形態」をつくらなければならない。そのためには、2060年の人口を概ね70万人確保することが必要となる。

○めざす将来の方向

<人口流出に歯止めをかける>

積極的な産業政策はもちろんのこと、インフラ等の条件整備を行って働く場を増やすとともに、若者に対して積極的な情報提供を行い、和歌山に帰り、または来てもらって仕事に就いてもらえるように教育、労働政策を展開する必要がある。転出を減少させること、転入を増加させることの両面からの対策を強力に推進する。

＜出生率の向上を図る＞

出会い・結婚・妊娠・出産・子育てのそれぞれのステージにおいて様々な希望をかなえるための取組を推進し、出生率を高め、新しく生まれてくる人を増やすことで自然減を減らす。

＜暮らしやすい社会をつくる＞

人を呼び込み、いつまでも暮らし続けたいと誰もが思う和歌山を実現するため、時代とともに移り変わるニーズに対応した地域社会を構築する。

和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

○総合戦略とは…長期人口ビジョンで示した「2060年の人口概ね70万人」を達成するため、最初の5か年における目標や施策等をまとめたもの

基本姿勢

人口減少の抑制に向けた取組と人口減少時代に適応した地域づくりを戦略的に実行することで、誰もが生き生きと暮らせ、“元気”を持続できる和歌山を創造する。

○「しごと」を創る

県内で就職を希望する人すべてを受け入れることをめざし、「しごと」を創り出していく。国外や県外から稼げるよう、製造業や観光業、農林水産業など、本県が強みとする産業の競争力を高めるとともに、地域の魅力・資源を最大限に活用した産業を創出することで、質の高い雇用を確保するとともに、和歌山での新たな投資を盛んにし、県内経済の好循環を生み出す。

○「ひと」を増やす

和歌山は、豊かな自然に囲まれ、世界に誇る歴史・文化が身近にあり、家賃・物価の安さ、平均通勤時間の短さ、良好な治安環境など都市部にはない魅力があり、さらに磨きをかけて「暮らしやすさ抜群 和歌山県」の実現をめざす。その魅力や全国トップクラスの移住促進策を広く情報発信し、移住を希望する人々を積極的に呼び込むとともに、シニア世代の移住も積極的に促進する。また、あらゆる世代にとって安全・安心で快適な地域をつくるとともに、結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を展開するなど、子どもを生み育てやすい環境整備をさらに推進し、超長期的に人口が維持できる水準に近づける。

○「まち」を創る

都市の機能を再編・集約し、まちなか居住を誘導するとともに、無秩序な拡散を抑制することで、持続可能なコンパクトなまちづくりを推進する。中山間地域では、日常的な生活サービスを受容できる地域(生活拠点)と、その地域と一体性を保つ周辺集落を「生活圏」と捉え、暮らしの礎とする。世帯が少なく存続が見込めない住家にあっては、ある程度の期間を経て最寄りの生活拠点に移り住み、そこから仕事場に出かけるといった郷土での新しい暮らしを進める。

基本目標

長期人口ビジョンで示した「めざす将来の方向」に沿って取組を進めるに当たり、次の5つの基本目標を設定

1 安定した雇用を創出する

【具体的目標】5年間で4,000人の雇用の場を確保

- 全国、世界から需要を獲得できる産業を重点分野として、研究開発・商品開発・販路開拓・人材育成など発展の各段階で企業のチャレンジを支援する
- 持続可能でたくましい農林水産業を創出するため、各分野において生産拡大、経営の多角化、販売促進、担い手の育成・確保を図り、競争力を強化する
- 観光資源の認知度を向上させるとともに、観光素材の充実や受入体制の強化、新たな観光資源の創出を図ることで観光客の増加をめざす

2 和歌山県への新しい「人の流れ」を創造する

【具体的目標】直近5か年の転出超過累計数を今後5か年で半減させる

- 首都圏や大都市圏からの移住を促進するため、和歌山ならではの魅力や強みを活かすとともに、和歌山の「暮らしやすさ」に磨きをかける
- 和歌山で働きたい人を全て受け入れることをめざし、継続して安定的な雇用を生み出す県内産業の育成と、企業誘致による新たな働く場の創出を図る
- 本県出身の大学生、高校生に和歌山県内企業の就職情報を発信し、和歌山県内への就職の機会を提供する

3 少子化をくい止める

【具体的目標】合計特殊出生率を平成31年に1.80（平成26年1.55）

- 未婚化、晩婚化、晩産化の流れを変えるため、若い世代が結婚・子育てに希望を抱くことができるよう、様々な取組を県内各地で実施する
- 小児科・産科の医師の確保や診療・相談体制の充実など小児医療体制をより一層強化する
- 子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、働きながら子育てができるよう、多様な保育ニーズに対応した保育環境を整備する

4 安全・安心な暮らしを実現する

【主な具体的目標】

津波による犠牲者ゼロとそれをめざすための必要な対策を概ね10年で完成
がん年齢調整死亡率25%減少(対H17年比)／健康寿命の延伸
環境・食品由来の健康被害ゼロ

消費者被害、犯罪、交通事故のないまちづくりを推進

- 津波や水害、土砂災害などの自然災害に対して、人命の保護を最優先に、ハード整備とソフト対策を両面から強力に推進し、死者ゼロをめざす
- 将来の医療需要に見合った地域医療構想を策定し、地域における効率的かつ効果的な医療提供体制を確保する
- 高齢者が安心して暮らせる環境を実現するため、在宅医療提供体制を整備し、切れ目なくサービスを提供できる地域包括ケアシステムを構築する
- 大量廃棄等による自然環境破壊、大気汚染等による生活環境の悪化、食品偽装問題等の課題を解決し、県民の生活しやすい社会を実現する
- 誰もが安全で安心して暮らせる地域をめざし、犯罪のおこらない環境や安全で快適な交通環境を実現する

5 時代に合った地域をつくる

【主な具体的目標】

拠点都市相互を高速道路ネットワークで結ぶ

日常生活サービスが享受できる拠点及び交通インフラの整備

まちなか居住・都市機能の誘導を推進するための都市再開発等の推進

地域を支える活動者の倍増

- 県民活動を支える基盤であり、発展に向けたチャンスをつかみ取るために重要な道路ネットワークや情報通信技術などの公共インフラの整備を推進する
- 県民ニーズにきめ細やかに対応できる NPO やボランティア団体、地域づくりに参画する若者など、地域活動の担い手となる「ひと」を育て地域を活性化する
- 都市のこれ以上の外延的拡大を防ぐため、郊外の開発抑制に向けた都市計画の策定や、農地の転用の抑制、衰退した都市部の再開発を実施する
- 生活拠点と周辺集落とで一体性を保った「生活圏」での住民生活を守るとともに、生活拠点から離れ、世帯が少なく存続が見込めない住家にあっては、「生活圏」内へ移住し、近所づきあいができるような暮らし方を提案する

●日本トルコ友好125周年行事が開催されました

・6月2日から6月4日まで、串本町及び駐日トルコ共和国大使館の主催で、日本トルコ友好125周年記念行事が串本町で開催されました。この記念行事は、トルコ軍艦エルトゥールル号が串本町紀伊大島沖で遭難してから今年で125年を迎えるに当たり、日本とトルコの友好の礎となったエルトゥールル号の殉難将士を追悼するとともに、両国の更なる友好を願うものです。



・6月3日、当初予定していたトルコ軍艦「ゲディズ」艦上での洋上式典や大島檜野崎での陸上式典は悪天候のため、会場を串本町文化センターに変更して開催されました。日本側は彬子女王殿下、トルコ側はチチェキ大国民議会議長御夫妻を主賓に迎え、ポスタノール・トルコ海軍総司令官、メリチ駐日トルコ大使、仁坂知事など両国の関係者約300名が参列し、エルトゥールル号遭難事件の犠牲者を追悼しました。



・6月4日に開催された記念シンポジウムでは、12月の公開に向けて製作が進められている、エルトゥールル号遭難事件から時代を超えて受け継がれてきた両国の絆を描く日本・トルコ合作映画「海難1890」の

田中 光敏監督や出演女優の 忽那 汐里さんらによるパネル・ディスカッションが実施され、製作中の映画の一部も特別に公開されました。

・また、今回の記念行事に合わせて、大島のトルコ記念館がリニューアルされました。海底から引き上げられたエルトゥールル号の遺品や、日本とトルコとの友好の歴史が紹介されていますので、是非お越しいただき御覧ください。

●「和歌山フリーWi-Fi大作戦」が始動します！

・県では、急増する外国人観光客等が快適に滞在できるよう「和歌山フリーWi-Fi大作戦」として、Wi-Fi接続環境の大幅な向上に取り組みます。Wi-Fi整備事業者(NTTグループ)との協働により統一した整備基準を定め、Wi-Fi接続のための認証手続きの一元化の実施など、利用者に利便性の高いWi-Fi整備を進めます。



・今後、県有の12施設に整備するとともに、NTTグループと協定を結び県内の民間施設に無料Wi-Fiを一気に整備します。また、商店街、宿泊・観光施設など約500か所、景観地など約50か所のWi-Fi整備を支援します。

・こうした取組により、県内全域に多くのアクセスポイントが設置されますが、共通のID・ステッカー等により利用者にわかりやすい情報発信、利用に当たっての認証一元化、

地域の観光・防災等の情報発信など利用者に利便性の高いWi-Fi整備を実現します。

【整備イメージ】



●仁坂知事が「ベスト・プラウド・ファーザー賞 in 関西」を受賞！！

・6月17日、帝国ホテル大阪(大阪市北区)において、第9回ベスト・プラウド・ファーザー賞 in 関西の発表と授賞式が行われ、仁坂知事が政治部門で受賞しました。

・この賞は、一般社団法人日本生活文化推進協議会(JLCA)が、父の日の啓発活動として、各界の関西出身者や関西にゆかりのある方で明るく楽しい家庭づくりをしている父親や、子どもたちのよき理解者などから選出するものです。

・授賞式において、受賞者一人ひとりに賞状、花束、トロフィーが贈られました。その後行われたインタビューで知事は、「本当に光栄に思う。仕事ばかりのダメおやじだったので一旦受賞を辞退したが、妻から『和歌山県にとっても光栄なことだから。』と後押しされ、お受けすることにした。心の中では、いつも家族のことを思っているが、これまでは行動が伴っていない部分もあったので、これを機に理想の父親像に近づけるよう努力していきたい。」と述べました。



・県では、今回の知事の受賞を機に、若い世代の結婚・子育てに対する機運の一層の醸成を図っていきます。

・なお、そのほかの受賞者は、経済部門：西村 貞一さん(株サクラクレパス代表取締役会長)、文化部門：白鵬 翔さん(大相撲力士第69代横綱)、スポーツ部門：山中 慎介さん(プロボクサーWBC世界バンタム級チャンピオン)、芸能部門：森脇 健児さん(タレント)、一般部門：喜多 勲さん(朝日放送アナウンサー 喜多ゆかりさんのお父さん)、特別賞：杉 良太郎さん(俳優)です。

●カゴメ株式会社から「野菜生活100紀州うめミックス」が今年も発売！

・6月30日から9月末までの期間限定で、今年もカゴメ株から和歌山産の南高梅を使用した「野菜生活100紀州うめミックス」が発売中です。この商品は、地域の特産農産物を使用した人気の「野菜生活100」シリーズで、昨年到现在2年目の発売となっています。

・昨年の商品より、南高梅ならではの甘酸っぱさをより際立たせたすっきりした美味しさが特徴で、パッケージの前面には、熊野古道の百間ぐらをイメージしたイラストを背景に紀州梅をあしらひ、側面では「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」のマスコット「きいちちゃん」が、和歌山県を全国にPRしています。県では、梅の需要拡大に寄与していただけるものと大いに期待しています。

・9月末まで販売予定ですが、在庫がなくなり次第販売終了となりますので、皆さんもお早めにお買い求めください。



●県産青梅プロモーションを香港で集中的に展開！

・6月に県は、香港で梅産地の方々による販促活動を核として、人気カフェでの梅スイーツメニューの提供、香港現地のインフルエンサーを集めたイベントでの県産梅酒の試飲会など、青梅の認知度拡大、販路開拓を目指したプロモーションを集中的に展開しました。



・県では都道府県としては初となる経済協力促進を目的としたMOU(覚書)を、2013年7月に香港貿易発展局と締結するなど、香港での県産品の販路開拓に向けた活動を強化する中、今回はその一環としての取組となりました。



・6月20日、21日の2日間、日本食材取扱百貨店として人気のある「一田(YATA)百貨店」において、青梅フェアが開催され、JA紀南や田辺市梅振興室の皆さんが店頭で梅ジュースや梅酒の作り方の紹介、試飲を行うなど青梅の販促活動を行いました。

・また、6月1日から6月30日の1ヶ月間、人気カフェ「MACCHA HOUSE/抹茶館」において、県産青梅を使った特別メニュー(梅くずきり：紀州古城梅使用)が提供されました。そのほか6月20日には、日本好きな香港現地のインフルエンサーを集め、日本の魅力発信を目的とした「Japan Collect Presents 日本の夏祭り-Japanese Summer Party」が香港大学で開催され、県出展ブースにて県産梅酒の試飲を行い、県産の青梅や梅酒をPRしました。

・「一田(YATA)百貨店」での青梅の販売では、2日間で約800キロが完売するなど青梅に対する香港人の関心は高く、プロモーションを通じて地元の方々からは、「是非、この機会に和歌山の青梅を購入したい。」、「和歌山の梅酒は美味しい！香港人に合う。」と大変好評を得ました。

●県内小学校へ「うめ」を提供しました

・県では、地産地消の取組として、平成24年度から県内小学校・特別支援学校の給食や家庭科等の教材として、主要農水産物の提供を行っています。



・本年度の取組の第1弾として、県内の国公立小学校・特別支援学校258校に「うめ」を提供し、子どもたちがうめジュースづくり体験等を行いました。また、農家の方と県職員が以下の学校に出向き、「うめの生産状況」等について説明する出前授業を行いました。

・出前授業を受けた子どもたちは、「うめと砂糖のみで、ジュースができるのが不思議。」、「ジュースができるのが楽しみ！」と話すなど、大盛況でした。なお、本年度はうめ以外にも、もも、かき、みかん、魚を提供する予定です。

実施日	実施校名	実施日	実施校名
6月17日	岩出市立中央小学校	6月23日	和歌山市立山東小学校
	印南町立清流小学校		橋本市立境原小学校
6月18日	広川町立南広小学校	6月26日	紀の川市立粉河小学校
	白浜町立日置小学校		
	新宮市立熊野川小学校		

●第3期「わかやま塾」が開講

・6月19日、第3期「わかやま塾」を開講しました。「わかやま塾」には、将来の和歌山県を支え、世界にはばたくグローバル人材を育成することを目的に、県内企業の経営者、幹部、後継者、公務員など100名が塾生として参加しています。

・冒頭、仁坂知事が塾長として、「皆さん大いに勉強していただいて、リスクをものともしない前向きな態度で和歌山を引っ張っていただきたい。」と挨拶し、引き続き、知識編「国の政治行政制度」と題した講義を行いました。その後、塾生による1分間スピーチ、中野BC株式会社 中野 幸生代表取締役社長による心掛け編講義が行われました。講義終了後には、交流会を開催し、塾生同士が交流を深めました。

・わかやま塾は平成28年3月まで全9回開催し、毎回、国の政治行政制度や世界経済情勢など様々な分野についての「知識編」と、成功を収めている企業のトップなどから、経営者としての心構えなどの「心掛け編」の講義を予定しています。



●「第19回機械要素技術展」に県内の企業が出展しました

・6月24日から6月26日にかけて東京ビッグサイト(東京都江東区)において開催された「第19回機械要素技術展」に、和歌山県から11社が出展しました。

・この展示会は、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めたもので、毎年、設計・開発、製造・生産技術部門を中心とした製造業ユーザーが多数来場し、出展企業と商談が行われます。

・3日間で約8万以上の方が来場する中、販路開拓の契機とするため出展の県内企業が、製品の展示や実演を行いながら自社製品や技術力をPRするなど、活発な商談が行われました。



○出展企業

企業名	所在地	主な業務内容	出展製品・技術力
アイエムティー(株)	印南町	精密研磨装置製造	試料研磨機、試料埋込機
川本化成(株)	和歌山市	プラスチック製品の溶接	樹脂溶接技術
(株)環境テクノス	和歌山市	純水装置製造	超純水製造装置
(株)小松金属	和歌山市	鋳物部品製造	アルミ鋳物品、機械加工部品
金剛ダイス工業(株)	紀美野町	冷間鍛造金型製造	小径穴冷間鍛造金型
桜井鉄工(株)	かつらぎ町	高圧継手製造	高圧継手
正和産業(株)	有田市	シール製品製造	高機能シール製品
大栄工業(株)	和歌山市	合成樹脂販売、機器開発	三次元インモールド成形品
協業組合太成	上富田町	メッキ加工、ボタン製造	プラスチック樹脂のメッキ加工
太洋工業(株)	和歌山市	電子基板・基板検査機	シートフィルム表面検査機
小川工業(株)	橋本市	自動車部品製造	自動車用冷間圧造部品

●最近の青少年が関係する県内外の凶悪事件について、再発防止への対応を強化

・県では、今年2月に発生した紀の川市での痛ましい事件や、全国で発生している地域住民が不安を感じる出来事(子どもが被害に遭う凶悪事件など)に関して、こうした事件の再発防止への対応を強化することとしています。

・6月議会において、「和歌山県安全・安心まちづくり条例」の一部を改正し、県民の役割に、地域社会の安全に関する意識の高揚、犯罪被害を受けないための知識の修得及び県民の安全で安心な暮らしを害するおそれのある事態の発生に関する情報の提供に努めることを追加しました。こうした役割を県民の役割として明文化するのは、全国で初めてとなります。

・危険な刃物については、インターネットでの購入が常態化し、流通経路が広域化しているため、「銃砲刀剣類所持等取締法」で全国的な統一規制を国に対して要望するとともに、青少年に対する有害刃物類の所持を規制するため、「和歌山県青少年健全育成条例」の一部改正を、9月議会に提案していきます。

・そのほか、人を思いやる温かい心や、自分のもとより友達や家族等すべての人たちのかけがえのない命を大切にすることをしっかりと育てていくため、子どもの道德教育の充実を図ります。また、子どもでは解決できない、悪いこと、危ないことを知った時はきちんと大人に伝えることができるよう、子どもの「SOS」のサインを拾い上げる仕組みを構築していきます。

●旅館ホテル生活衛生同業組合と災害時避難者受入れに係る協定を締結

・6月15日、県と和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合は、「災害時避難者受入れ協定」を締結しました。この協定は、災害により避難所生活を余儀なくされたことで、健康を損なった方、健康を損なうおそれがある方の身体的・精神的負担を軽減することを目的としています。

・調印式において、仁坂知事は、「避難所生活で体力に自信のない方などは弱っていく可能性がある中で、そういう方々が旅館やホテルでのケアをされた生活により、元気になれるということをこの協定は保証してくれる。」とお礼を述べ、同組合の坂口理事長は、「私たちには、部屋、食事処、お風呂など被災された方にゆっくりしていただける施設があるので、それで皆さんに喜んでいただけることがあればという思いで、協定に調印させていただいた。」と話されました。

・平成23年9月の紀伊半島大水害の際には、県がお願いをして、同組合の旅館やホテルに避難者の方々を受け入れていただきました。今後はこの協定に基づき、県が被災市町村からの要請を取りまとめ、同組合に対して避難者の受入れを要請します。組合員である施設には、可能な限り避難者を受け入れていただけることとなります。



●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会に係る企業協賛及び募金感謝状贈呈

・6月15日、企業協賛制度による「オフィシャルサプライヤー」として新たに協賛いただくことが決定した企業、及び紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金(きいちゃん募金)に多額の寄附をいただいた企業の方々に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。



・提供いただきました寄附金は、両大会のボランティア活動や県民運動などに、物品等は大会運営に活用させていただきます。

○オフィシャルスポンサー&サプライヤー

企業名	提供内容	出席者
株式会社 島精機製作所	式典出演者用衣装	島 正博 代表取締役社長 H24.11 オフィシャルスポンサー感謝状贈呈

○オフィシャルサプライヤー

企業名	提供内容	出席者
西日本旅客鉄道 株式会社	紙製折りたたみ式オペラグラス	川井 正 執行役員 和歌山支社長

○寄附者

企業名	出席者
木原造林 株式会社	岩本 嘉四郎 代表取締役
菱岡工業 株式会社	岡田 亜紀 代表取締役
溝端紙工印刷 株式会社	溝端 繁樹 代表取締役社長

●和歌山県庁来庁記念スタンプを設置しています！

- ・6月22日から、県庁来庁記念スタンプ2種類を庁内(正面玄関サービスステーション、本館2階県民ロビー、北別館2階県民ギャラリー)に設置しています。
- ・一つは、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」を広く一般の方々に周知するため両大会をモチーフに10月26日まで設置し、もう一つは「わかぱん」と「きいちゃん」の両キャラクターがデザインされ、和歌山の魅力をPRしています。
- ・2種類とも、とてもかわいらしいデザインとなっていますので、皆さんも来庁される際は、是非、御活用ください。



●「堺和歌山県人会」総会が開催されました

- ・ 6月7日、堺和歌山県人会第54回総会・懇親会が堺市のホテル第一堺において、開催されました。
- ・ 懇親会の冒頭、亀谷 忠夫会長が、出席の方々にお礼を述べられるとともに、会長自身の出身地であり、開創1200年記念大法会や秘宝の特別開帳等で注目される高野山をPRされました。
- ・ 歓談の合間には、堺沖縄県人会の御厚意で琉球国祭太鼓エイサ踊りを披露していただき、会場は一層盛り上がりました。
- ・ 堺和歌山県人会の皆さんには、ふるさと納税等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。



●「京都和歌山県人会」総会が開催されました

- ・ 6月21日、京都和歌山県人会第123次総会・懇親会が京都市の京都平安ホテルにおいて、開催されました。
- ・ 総会の後行われた、京都府立医科大学副学長久保 俊一教授の「リハビリテーションに関する最新の課題」と題した講演では、リハビリテーションは和歌山県が発祥であるとの話がありました。
- ・ 懇親会の冒頭には、松尾 忠昌会長が、「県人会を活性化していくためには、若い力の結集、女性の力の結集、年配者の力の結集が必要である。」と挨拶されました。その後、新入会員の紹介があり、一人ひとり県人会に対する思いを述べられました。
- ・ 京都和歌山県人会の皆さんには、ふるさと納税等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。



●平成27年度全国高等学校総合体育大会が間もなく開催！

・高校生最高・最大のスポーツの祭典「全国高等学校総合体育大会(通称：インターハイ)」の開催が、目前に迫っています。今年は、和歌山県を含む、近畿2府4県において各競技が実施されます。県選手団への御声援をよろしくお願いします。

府県名	競技種目等	会場地市町村	会場	日程
和歌山県	総合開会式	和歌山市	和歌山ビッグホエール	7/28
	陸上競技		紀三井寺公園陸上競技場	7/29～8/2
	剣道		和歌山ビッグホエール	8/3～8/6
	ヨット		和歌山セーリングセンター	8/12～8/16
滋賀県	卓球	大津市	滋賀県立体育館	8/9～8/14
	ソフトボール(女子)	守山市	守山市民運動公園市民野球場ほか	8/2～8/6
	ソフトボール(男子)			8/8～8/12
	登山	高島市	高島トレイル(乗鞍岳・大谷山)ほか	8/7～8/11
京都府	水泳(競泳・飛込)	京都市	京都アクアリーナ	8/17～8/20
	バスケットボール	京都市ほか	ハンナリーズアリーナほか	7/28～8/3
	バドミントン	長岡京市ほか	京都府長岡京記念文化会館ほか	8/6～8/11
	レスリング	舞鶴市	舞鶴文化公園体育館	8/2～8/5
	ホッケー	京丹波町ほか	グリーンランドみずほほか	7/31～8/5
	カヌー	京丹後市	久美浜湾カヌー競技場	8/4～8/8
大阪府	水泳(水球)	大阪市	大阪プール	8/17～8/20
	体操		体操競技	7/31～8/3
			新体操	8/6～8/8
	バレーボール(女子)	大阪市ほか	舞洲アリーナほか	7/28～8/1
	バレーボール(男子)			8/2～8/6
	ハンドボール	堺市	堺市金岡公園体育館ほか	8/1～8/7
	テニス	大阪市	マリンテニスパーク・北村	8/1～8/8
	自転車競技(トラック)	岸和田市	岸和田競輪場	8/6～8/9
なぎなた	大阪市	大阪府立体育館	7/29～7/31	
兵庫県	サッカー(男子)	神戸市ほか	ノエビアスタジアム神戸ほか	8/2～8/9
	サッカー(女子)			8/4～8/9
	相撲	洲本市	洲本市文化体育館	7/28～7/30
	ボート	豊岡市	円山川城崎漕艇場	7/30～8/3
	ボクシング	西宮市	兵庫県立総合体育館	7/28～8/3
	ウエイトリフティング	明石市	明石中央体育会館	8/1～8/5
	少林寺拳法	姫路市	兵庫県立武道館	7/31～8/2
奈良県	ソフトテニス(男子)	明日香村	奈良県立橿原公苑明日香庭球場	7/28～7/31
	ソフトテニス(女子)			8/1～8/4
	柔道	天理市	天理大学袖之内第一体育館	8/8～8/12
	弓道	吉野町	吉野運動公園総合体育館	8/6～8/9
	フェンシング	桜井市	桜井市芝運動公園総合体育館	8/7～8/11
	空手道	宇陀市	宇陀市総合体育館	7/30～8/2
	アーチェリー	橿原市	奈良県立橿原公苑陸上競技場	8/6～8/9
その他	自転車競技(ロード)	三重県鈴鹿市	鈴鹿サーキット	8/10

●「わかやま夏の節電アクションプラン」を作成

・県では、今夏の関西電力管内の電力需給が厳しい状況であることが予測されていることを踏まえ、「わかやま夏の節電アクションプラン」を作成しました。対象期間は、平成27年7月1日から9月30日までの平日(8月13日、14日を除く)9時から20時までで、昨夏と同様の着実な節電(平成22年夏比13%減)を目指すこととしています。

・皆さんも、それぞれの地域で節電の取組が行われていることと思いますので、御協力ください。詳細についてはホームページを御覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/setsuden/>

□主な取組

1 節電の働きかけ

県から、広報紙、テレビ、ラジオ等による呼びかけ

①家庭での節電

○昨夏と同様の節電の着実な実施(平成22年夏比13%削減)

- ・室温28℃設定の心がけ・無理のない範囲でエアコンを停止し扇風機を使用
- ・冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変更・不要な照明の消灯

②産業・業務部門での節電

○昨夏と同様の節電の着実な実施(平成22年夏比13%削減)

- ・照明を1割程度間引き・使用していないエリアの消灯の徹底と空調の停止

2 ご家庭に向けて

○夏の昼間に、家族でそろってスポーツ観戦、イベント、身近な集客施設等にお出かけいただくことにより家庭での電力消費を抑制

- ・2015紀の国わかやま国体の各競技大会
- ・全国高等学校総合体育大会(通称：インターハイ)
- ・2015紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会文化プログラム
- ・和みわかやまキャンペーン(仮称)特別企画
- ・ほんまもん体験：農林漁業体験、生活文化体験、歴史文化体験、自然観察体験
- ・お得に楽しむ県立施設、集客施設：県立博物館、家族のふれあい優待制度協賛店

○節電コンクール：節電の取組やアイデアを一般公募

○各種補助制度：住宅用太陽光発電設備導入促進事業補助金
省エネ・節電関係家庭向け国庫補助制度等

3 産業・業務部門に向けて

○中小企業向け融資制度：安全・安心推進資金

○事業者向け国庫補助制度等：エネルギー使用合理化等事業者支援補助金

○工場・ビル等 省エネ・節電無料診断

4 県庁での節電への取組

○平成22年夏比15%以上削減メニュー

- ・室温28℃の徹底、課室内照明30%程度消灯、エレベーター一部運転停止
- ・トイレのエアータオル及び便座保温の停止、昼間の電気自動車充電器の使用停止
- ・「毎日がノー残業デー」の展開、クールビズの推奨

5 「需給ひっ迫警報」発出時の対応

○県庁においては、業務に支障のない範囲で空調設備等の停止

○県ホームページや防災わかやまメール等による緊急節電要請



イベント情報(7月11日～8月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
7/11～ 8/23	くじらに出会える海水浴場	太地町・くじら浜海水浴場	太地町産業建設課 0735-59-2335
7/14	扇立祭	新宮市・熊野速玉大社	熊野速玉大社 0735-22-2533
7/14	那智の火祭 那智の田楽	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
7/18、25 8/8、15	キャントイルミネーション 2015	白浜町・白良浜	白浜温泉旅館協同組合 0739-42-2215
7/20	港まつり花火大会	和歌山市・和歌山港	港まつり実行委員会 073-432-3116
7/24 7/25	河内祭の御舟行事	串本町・河内神社	古座観光協会 0735-72-0645
7/24 7/25	天神祭	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
7/25	熊野古道清姫まつり	田辺市・真砂河原	中辺路観光協会 0739-64-1470
7/25 7/26	粉河祭	紀の川市・ 粉河とんまか通り	粉河祭保存会 0736-77-2511
7/26	日前宮薪能	和歌山市・ 日前神宮國懸神宮	日前神宮國懸神宮 073-471-3730
7/26 8/1、2	おどるんや 紀州よさこい祭り	和歌山市内各所	NPO 紀州お祭り プロジェクト 073-426-4424
7/30	白浜花火フェスティバル	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
7/30 7/31	茅輪祭	和歌山市・伊太祁曽神社	伊太祁曽神社 073-478-0006
8/1	紀州おどり ぶんだら節	和歌山市・和歌山城周辺	紀州おどり実行委員会 073-435-1234
8/1	串本まつり	串本町・串本	串本町観光協会 0735-62-3171
8/1～ 8/15	かいなん夢風鈴祭り	海南市・ 海南市物産観光センター	同実行委員会 073-482-4363
8/9	千日詣	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002



「くじらに出会える海水浴場」は、毎年海水浴シーズンには、多くの家族連れで賑わいます。

自然・風物情報(7月中旬～8月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
7月中旬	ハマボウ開花	御坊市・日高川河口南部	御坊市商工振興課 0738-23-5531
7月中旬	ハス開花	岩出市・ 植物公園緑花センター	植物公園緑花センター 0736-62-4029
7月中旬	ブルーベリー狩り	かつらぎ町・観光農園	かつらぎ町産業観光課 0736-22-0300
7月下旬	真夏にアジサイ満開	かつらぎ町・ 花園あじさい園	花園生産物直売所 0737-26-0888
7月下旬	ボウズハゼの滝登り	古座川町・滝ノ拝	古座川町観光協会 0735-72-0645
7月下旬	梅の天日干しはじまる	みなべ町各地	J Aみなべいなみ 0739-72-4387
8月上旬	サルスベリ咲く	田辺市・新庄町	田辺市管理課 0739-26-9966



ブルーベリーは、6月中旬から下旬にかけてハイブッシュ系の収穫が始まり、ラビットアイ系が8月下旬まで収穫されます。

生果は傷みが早いため、早朝や夕方に収穫し、すぐに冷蔵します。果実が何重にも積み重ならないよう、荷作りにも注意が必要です。

生果を一度に3～4粒口に放り込んで食べるのがお勧めですが、ジャムに加工して楽しむのも定番です。

アントシアニンなど多種多様なポリフェノールを含む機能性果実です。

～編集後記～

6月に入り、梅雨の時季を迎えていますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。全国各地で集中豪雨やひょう、突風など異常な天候により被害が出ているところもあるようですが、和歌山では、これまでのところ比較的降水量が少ない梅雨となっています。

さて、サッカー女子ワールドカップにおいて、日本代表「なでしこジャパン」が大活躍を見せています。体格で劣る中での健闘は本当に素晴らしいと思います。また、連覇に対するプレッシャーも相当のものがあつたと思われませんが、それを克服するだけの精神力には頭が下がる思いです。近年、「なでしこジャパン」のメンバーをはじめ、テニスの錦織圭選手、ゴルフの松山英樹選手など、世界の舞台で活躍する日本人が増えたことは大変誇らしく思います。

そして、スポーツではありませんが、県でも世界で活躍できるグローバルな人材を育てようと、今年度もわかやま塾を開講いたしました。今年度で3年目となりますが、これまでの受講生は、一期生二期生の方々とも、それぞれ「わかやま塾ネクスト」、「わかやま塾NEXT2」と称する団体を立ち上げ、卒業後も県の発展に寄与することなどを目的に活動しておられます。非常に頼もしく思いますし、異業種間で交流を深め情報を交換することで、お互いに刺激し合い新たなビジネスのチャンスもつかんでもらえたらと思います。過去の受講生のように、将来の和歌山を支える多くの人材が育つことを期待しています。

いよいよ「全国高校総体」が、今月28日から開幕です。県内では総合開会式のほか、陸上競技などの人気競技も実施されます。是非、会場にお越しいただき御声援をお願いします。「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」につながる盛り上がりとなるよう、大会の成功へと導きたいと思ひます。

間もなく梅雨明けとともに、本格的な暑さが始まります。無理のない範囲で節電に取り組みながら、暑い夏を乗り切っていきたいと思ひます。

知事室秘書課長 中村 一人

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2015年(平成27年) 7月 NO.87

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022